

Chat GPT トライアル実施 中間報告

1. 概要

システム名: LoGo AI アシスタント bot (TRUST BANK)

期 間: 9月14日(木)～10月13日(金)

対 象: 全管理職及び政策経営部職員 133名(105名、28名)

2. 文章生成 AI 利活用ガイドライン (案)

- 「文章生成 AI 利活用ガイドライン (version1.0)」(東京都デジタルサービス局)を参考に作成
- 文章生成 AI に関する基礎知識、利用上のルールを記載
- 効果的な活用方法を事例付きで紹介
- ※ 文章生成 AI 利活用ガイドライン(案)は[こちら](#)

3. 研修開催実績

期 日: 令和5年9月15日(金) 午前・午後 2回開催

参加者: 管理職 40名、一般職6名 合計 46名 参加率 34.6%

4. 利用状況

- 9月15日(金)～29日(金)の2週間で、約 27 万字の利用状況。想定より低調
- ログインしていないアカウントが 69、未ログイン率 51.9% (10月3日現在)

5. 課題と対応策

- 利用が低調な理由
 - ① ログイン方法が分からない
 - ② 生成 AI の活用方法がわからない
- 上記課題は研修に含まれる内容であり、研修不参加者に対しても改めてメールで周知しているが、利用につながっていない
- ログイン方法や生成 AI の活用に困っている場合は、行政経営課までお問い合わせください

6. トライアル終了後の流れ

- 期間終了後、対象者向けアンケートを実施
- 効果測定後、本格導入の可否を検討

～ChatGPT からのアピール～

ChatGPT は、我々が新しくサービスを開始する際や既存の問題に対して解決策を考えると、多角的に思考を広げる良いパートナーです。

例えば、地域の新しい観光計画についてアイデアを出し合いたいとき、ChatGPT に「地域の観光を活性化するための新しいアイデアは何ですか？」と質問することで、詳細な提案が得られます。これにより、我々自身では思いつかなかった創作的なアイデアが得られることでしょう。

また、既存の問題がある場合でも、例えば「地域のゴミ問題を解決するための新たなアイデアは何ですか？」といった質問をすることで、ChatGPT はさまざまな視点から解決策を提案します。

加えて、その問題について十分な背景情報を提供することで、より具体的で実効性のある提案が得られます。たとえば「当地は気候変動の影響で過酷な夏が続き、農作物が育たない。これに対する解決策は何か？」といった具体的な問題提起も可能です。

これらの利用方法をぜひお試しください、よりよい地域づくりのためのアイデアの創出に活用していただきたいと思います。

【文章生成 AI を活用し、作成】

【問い合わせ先】
政策経営部行政経営課
行政経営グループ（2515）